

「学校教育目標」と「令和6年度重点目標」に向けて

ゆたかに かしこく たくましく 未来を拓く南っ子
 自分と人を大切に、自ら考えて答えをもち、あきらめず挑戦する児童（22世紀を生き抜く子ら）

知識・技能の修得

思考力・判断力・表現力の育成

『子ども…』を主語にした学級づくり・授業づくり

学びに向かう力・人間性の涵養

何ができるようになるか

○育成を目指す資質・能力

自分と人を大切にする (ゆたかに)
 自分で考えて答えをもち (かしこく)
 あきらめず挑戦する (たくましく)

何が身に付いたか (評価)

・互いを尊重し、共に生きる方法を探る
 ・互場や状況に応じて、主体的に課題解決しようとする
 ・つまずいてもあきらめず、できることに励む

子どもの実態

- 人懐っこく子どもらしい
- 活力がある
- 地域の教育力の高さ
- ▲多様な家庭環境、配慮を必要とする児童が増加
- ▲学力の二極性
- ▲主体性に欠ける
- ▲伝統的地域の閉鎖性

子どもの発達をどのように支援するか

○配慮を必要とする子どもたちが得るもの

- ・教職員の正しい理解による適切な配慮と支援の享受
- ・教職員との深長な関わりによる特別支援教育の視点を活かした指導の享受
- ・教職員間の共通理解による支援の享受
- ・一人一人の教育的ニーズによる支援員、H S、S C、保護者、外部機関からの支援の享受

目指す子どもの姿

- ・願いをもち、自分で考え、行動する
- ・仲間とともに磨き合う
- ・他者に思いを伝える
- ・主体的に試し求める
- ・正しい人権感覚の醸成

誰も取り残すことのない南小の教育

何を学ぶか

○意図を明確にした教育課程の編成

- ・どの力を育むのか、何をを目指すのかを明確にする枠組と指導計画・職員会提案
- ・学習指導要領・解説書・生徒指導提要の読解

どのように学ぶか

○子どもの目線で生み出す授業

- ・一つ一つの知識がつながり、「わかった!」「おもしろい!」と思える授業
- ・見通しをもって、粘り強く取り組む授業
- ・周りの人と共に考え、新しい発見や豊かな発想が生まれる授業
- ・自分の学びを振り返り、次の学びや生活に生かすことができる授業

児童の活力を学びと生活に生かす

目標実現のためには教職員・学校に何が必要か

○指導体制の充実、家庭・地域との連携・協働

子どもを主語とした授業づくり

- ・確かな学力と学習習慣の定着
- ・学びの喜び・充実感の感受
- ・必然性のある学びの創出と課題の明確化

自己決定・自己実現を叶える学級経営

- ・差別を許さない人権感覚の醸成
- ・自分と仲間の肯定を推進
- ・願いを明確にした自治的活動

安心・安全を守る

- ・健康な生活習慣の定着
- ・児童の安全は大人が守る意識
- ・自分の命は自分で守る指導

開かれた学校をつくる

- ・学校運営協議会、PTAとの連携
- ・保・幼・中学校との多面的接続
- ・地域の教育力の活用

明日も笑顔で教壇に立つために

- ・家庭と職場の優先順位をつける習慣
- ・休暇・補充時の負担軽減
- ・教職員間の多様性を理解する感性

児童と教職員のウェルビーイングの実現

支援推進委員会

- ・安全部会 (市民会議)
- ・学校支援部会
- ・事業部会
- ・クラブ活動部会

PTA

地域コーディネーター

学校運営協議会

- ・自治会連合会
- ・青少年育成市民会議
- ・各種団体

- ・おやじの会
- ・子育て支援の会
- ・子ども会育成会

- ・教育ボランティア

コミュニティ・スクールの推進